

“あ”はすべての原点“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。

大陸

ASO Continent



ゆっくりのんびり
阿蘇大陸



『笑顔と感動があふれた一年間』 『阿蘇カルデラツーリズム博覧会』



2011年3月に始まり、一年にわたってさまざまなイベントが開催された『阿蘇カルデラツーリズム博覧会（愛称／阿蘇ゆるっと博）』。あらゆる場所で、阿蘇くじゅうの自然や食、温泉を思う存分満喫した旅人たちの笑顔があふれました。

**ゆるっと過ごしてこそ
 味わえた
 季節の移ろいと人情**

トレッキングなどで自然を楽しむエコツーリズム、農家民宿や商家に宿泊し地元



の暮らしを体験するグリーンツーリズム、そして、「まち」を楽しむタウンツーリズムで、阿蘇くじゅうの魅力をつぶりと満喫するのが「阿蘇ゆるっと博」。春夏秋冬と4つの季節に合わせた多彩なイベントはもちろん、各地に設けられたパビリオンでは、盛りだくさんの食や体験メニューが旅人たちを出迎えました。また、各パビリオンには地元だけでなく阿蘇くじゅう全体に通じたコンシエルジュたちが待機し、好みに合わせたコンテンツでオリジナルの旅プランをご提案し好評を博しました。

ゆつくりと時間をかけて滞在するからこそ味わえる、大自然の移ろいや地元ならではの食、そして人情。阿蘇くじゅうを訪れた旅人たちは、第二のふるさとをこの地に発見したはずです。自然と人、人と人が触れ合ったこの一年を振り返ります。

春

『エコたびフェスタ』

芽吹き季節、
大地のエネルギーを体感



阿蘇の山歩きのプロたちが、旅人たちを案内する『春あそ山歩き祭』の他、阿蘇くじゅう全域をフィールドにし、豪華賞品をゲットする宝探しが行われました。

阿蘇くじゅう各地にある多彩なトレッキングコースの中でも、大自然の迫力を間近に味わえるのが中岳・高岳コースです。仙酔峡を一面ピンクに染める満開のミヤマキリシマが迎えてくれるのは5月。青空に映える濃いピンク色に包まれながら登り始めることも、その景色を見下ろすロープウェイで、中岳東側火口まで登ることも可能です。

日によって色を変える火口の湯だまりと、東洋のグランドキャニオンと称される火口周辺の見事な景色を眺めた後、中岳、高岳の山頂へ。傾斜がきつところも多い上級者向けで、阿蘇の自然の厳しさやダイナミックさを体感できます。たくさんの旅人が、阿蘇の山々を思う存分楽しみ、登った人だけが味わえる壮快感や感動を手に入れました。

抜群の見晴らしに疲れも吹き飛んだ中岳・高岳コース

思わずシャッターを切った
根子岳とミヤマキリシマ

若芽の息吹を感じて歩いた
ブナ原生林コース

この日の中岳火口は
まぶしいコバルトブルー！

夏

『阿蘇まぢめぐり涼水祭』

暑さを忘れさせてくれる、
ミネラルたっぷりの湧水



木陰と水基が涼を運ってくれた門前町商店街



裏側に入れる神秘的滝、
鍋ヶ滝にも行きました！



いつもより3倍おいしく
感じた湧水の冷やしトマト



数え切れないほどの湧水地がある阿蘇くじゅう。夏は、水に特色のあるパビリオンで、多くの旅人が、阿蘇くじゅうの豊かな清水に暑さを忘れるひと時を楽しみました。

『阿蘇まぢめぐり涼水祭』は、案内所で配布された「涼みうちわ」を見せて割引や特典を受けられるという粋な計らいでスタート。阿蘇くじゅうに点在する商店街や温泉地、湧水で知られる集落など12カ所で多彩なイベントや特典が用意され、訪れる人を出迎えました。

阿蘇神社の横参道である門前町も、そんな水の恵み豊かな商店街の一つ。『水基』と呼ばれる湧水地が商店街とその周辺に20カ所以上も整備され、一年を通して、訪れる人を潤しています。イベント期間中は、飲食店や雑貨店などで割引やドリンクサービスを行ったほか、夜市も開催。湧水と情緒があふれる商店街の夕涼みを楽しむに、たくさんの方が訪れました。

秋

『阿蘇スローフードフェスタ』

心と体がほっとする、
自然からの贈り物



『秋あそ収穫祭』では、「農」と「食」をテーマにした『阿蘇スローフードフェスタ』を開催。農家レストラン、農家民宿、直売所など67の参加店舗でさまざまな特典が用意されました。

食や物産品、秋バラも出迎えてくれたはな阿蘇美

下田・長野パピリオンにある

のは、古民家レストラン「しゃえんば食堂」。御歳81歳の長野ミエさんを中心に作られる料理の野菜は「しゃえんば」と呼ぶ家庭菜園で作られたもの。本物の野菜の味と、昔ながらの味に多くの旅人が舌鼓。期間中は、ミエさんの息子である写真家、長野良市氏のポストカードがプレゼントされました。

満願寺パピリオンの農家民宿「吉原くんべえ村 畑厩」では、アイガモ農法で育て、かまど炊きしたご飯、自家栽培の野菜を使った料理が自慢。自然に囲まれた静かな宿で、「何もしない」という贅沢が旅人を癒しました。

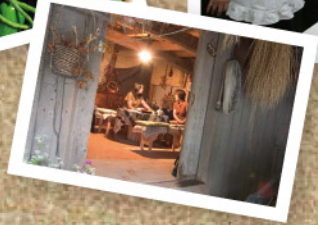
また、内牧パピリオンにある物産館「はな阿蘇美」では、約1mもあるロングフランクフルトも登場しました。



「また帰ってきます」。そんな気持ちになったごんべえ村



おばちゃんたちの手料理が心に染みたましゃえんば食堂



冬

『阿蘇温泉郷・湯ごもり祭』

凍える旅人をおためる、
冬のオアシス



一年の最後を締めくくるのは、『阿蘇温泉郷・湯ごもり祭』。参加温泉での入浴料が300円と割安になる入浴券の販売やスタンプラリー、各温泉地での趣向を凝らしたイベントやサービスが行われました。

地獄温泉「すずめの湯」では、混浴に挑戦！

お風呂上がりのゆで玉子は格別でした

温泉街のそぞろ歩きも楽しかった黒川温泉

『湯ごもり祭』に参加したのは、阿蘇、くじゅう、そして高千穂まで含む120軒の宿や温泉施設です。200年以上も前から湯治場として名高い南阿蘇村の地獄温泉「清風荘」もその一つ。浴槽の底から白濁した硫黄泉が湧き出る「すずめの湯」にも、多くの人が訪れました。

内牧温泉では、「風呂の日」の『温泉無料開放デー』をはじめ、宿泊やまちめぐり、立ち寄り湯などで好評を博しました。「湯の宿入船」は、暖炉のある図書室のようなロビーや女将さんの笑顔、料理が人気です。期間中は、湯気を上げるゆで玉子が出迎えてくれる立ち寄り湯でも、多くの旅人たちが「湯ごもり」を味わいました。

しんしんと冷える阿蘇くじゅうでは、湯けむりと人情が旅人を温める冬となりました。

世界のジオパーク「阿蘇」へ!

2009年10月、日本ジオパークネットワークから「阿蘇ジオパーク」として認定された阿蘇。
 現在、世界ジオパークネットワーク加盟を目指しています。



地球に親しみ、学べる場所が「ジオパーク」

ただ自然が残っているというだけではなく、私たちがそこに行くことができ、地球(=ジオ)の創生と現在・未来、そこに暮らす生物、そして宇宙までも学ぶことができること。また、その自然とともに育まれた人の暮らしや文化も同じように大切にされていること。そんな条件を満たす場所だけが認定されるのが「ジオパーク」です。

世界でも貴重な阿蘇の自然と文化

約27万年前に誕生し、世界最大級、かつ、世界でもまれなほど美しい形を持つのが阿蘇のカルデラです。現在も活動を続けるこの火の山と、阿蘇の人々は長い間共存し、「千年の草原」を含む独特の自然景観や文化を築き上げてきました。そんな悠久の歴史を持つ阿蘇は、まさに「ジオパーク」の優等生。現在日本国内で5カ所認定されている「世界ジオパークネットワーク」加盟を目指し、さまざまな取り組みを進めてまいります。

阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局 財団法人 阿蘇火山博物館内 TEL: 0967-34-2089 FAX: 0967-34-2090
 代表メール: info@aso-geopark.jp
 ホームページ: http://www.aso-geopark.jp

(財)阿蘇地域振興デザインセンターホームページ <http://www.asodc.or.jp>

阿蘇の魅力を動画で配信!「阿蘇テレビ」 <http://www.aso-tv.com/>

阿蘇広域観光サイト「阿蘇ファンクラブ」 <http://www.asofan.net/>

ASO-NAVI
阿蘇ナビ
<http://www.asonavi.jp>

